

### 3級 練習プリント

問1 次の各取引を仕訳しなさい。ただし勘定科目は以下の中から最も適当なものを選ぶこと。

現金	普通預金	当座預金	受取手形	売掛金
売買目的有価証券	前払金	前払家賃	未収金	支払家賃
立替金	備品	支払手形	買掛金	前受金
仮受金	未払金	借入金	減価償却費	固定資産売却益
備品減価償却累計額	売上	受取手数料	雑益	仕入
旅費交通費	支払保険料	前払保険料	未払家賃	支払利息
手形売却損	有価証券評価損	雑損	固定資産売却損	現金過不足

- (1) 現金の実際有高が帳簿残高より¥8,000 不足していたので、現金過不足勘定で処理していたが、本日、決算に際し調査したところ、利息の支払い額¥6,000 と、受取手数料¥1,700 の記入漏れが判明した。残額は原因が判明しなかった。
- (2) 新潟商店より商品¥280,000 を仕入れ、代金のうち¥80,000 は新大阪商店振出、当店受取の約束手形を裏書譲渡し、¥100,000 についてはかねてより売掛金のある得意先長野商店を名宛人とする為替手形を振り出し、同店の引受を得て渡し、残額は掛けとした。なお、引取費用¥8,000 は、小切手を振りだして支払った。
- (3) 平成 21 年 11 月 1 日に取得した備品（取得原価¥480,000、残存価額 0、耐用年数 8 年、定額法による償却、間接法により記帳）を、平成 25 年 5 月 31 日に ¥160,000 円で売却し、代金については翌月末に受け取る事にした。なお、決算日は 12 月 31 日とし、当期首から売却時点までの減価償却費は月割りで計算する事
- (4) 決算（12 月 31 日）にあたり、次の事実が判明したので適切な処理を行う  
 支払家賃 2,040,000 円は、当期の 8 月 1 日に加入し向こう 1 年分（12 か月分）を一括して支払ったものである。支払保険料 231,000 円は全額建物に対する火災保険で、毎年同額を 10 月 1 日に 12 か月分として支払っている。

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

### 3級 練習プリント【解答】

問1

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	支払利息	6,000	現金過不足	8,000
	雑損	3,700	受取手数料	1,700
(2)	仕入	288,000	受取手形	80,000
			売掛金	100,000
			買掛金	100,000
			当座預金	8,000
(3)	備品減価償却累計額	190,000	備品	480,000
	減価償却費	25,000		
	固定資産売却損	105,000		
	未収金	160,000		
(4)	前払家賃	1,190,000	支払家賃	1,190,000
	前払保険料	99,000	支払保険料	99,000